

第114期 株主通信

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで





わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

目 次

株主の皆様へ	1
トピックス	2
連結決算のご報告	5
経営成績、事業別の営業の成果	
業績の推移	
連結貸借対照表要旨、連結損益計算書要旨	
連結キャッシュ・フロー計算書要旨、連結株主資本等変動計算書要旨	
単体決算のご報告	8
営業の成果、部門別営業の成果	
業績の推移	
貸借対照表要旨、損益計算書要旨	
完成工事ハイライト	10
会社の概況	11
商号、沿革、設立、営業種目	
資本金、株式の状況	
大株主の状況、株価の推移	
取締役および監査役	
執行役員	
事業所	
リゾート事業のご紹介	
(パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ)	
(ホテル パサージュ琴海)	

株主の皆様へ



代表取締役社長
岩田 裕美

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第114期（平成26年4月1日から平成27年3月31日）の株主通信をお届けするにあたり、連結および個別決算を含め、会社の近況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、政府による経済対策効果等により、景気は緩やかな回復基調をたどりました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移したものの、労務需給や原材料価格等の動向に注意を要するなど、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような環境の中、当社および当社連結子会社（以下「当社グループ」という）は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売を強化するとともに、コスト削減や業務の効率化に努めてまいりました。

今後のわが国経済は、政府による経済の好循環の更なる拡大に向けた各種政策の実行により緩やかな回復が期待されますが、世界経済をめぐる不確実性は依然として高く、景気を下押しするリスクとして懸念されています。

建設業界におきましては、企業収益改善による民間設備投資の増加は見込まれるものの、公共投資の先行きは弱い動きとなることが推測されており、企業間の熾烈な受注競争や建設物価の上昇など、業界を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような環境の中、当社グループは、持てる技術力や機動力を発揮し、引き続き震災復興に全力で取り組むとともに、技術と経営に優れた企業集団として技術力の向上、営業力の強化、原材料価格上昇への適切な対応に努めるほか、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。そして、舗装工事、土木工事、製品販売の収益基盤の一層の確立を進めるとともに、建築、開発、海外事業の事業収益の安定化に努めてまいります。

なお、当社は、平成27年1月28日、東日本高速道路株式会社東北支社および国土交通省東北地方整備局が発注する道路舗装工事に関する独占禁止法違反の疑いで、公正取引委員会の立入検査を受けました。当社はこれを厳粛かつ真摯に受け止め、公正取引委員会の調査には全面的に協力するとともに、更なる法令遵守の徹底に全力を傾注してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

株式会社 NIPPO

代表取締役社長 岩田 裕美

トピックス

夏季に公道で行う競技に対する暑さ対策が本格化

「遮熱性舗装」「保水性舗装」の普及が促進

国土交通省では4月17日、2020年に向けマラソンや競歩、自転車競技、トライアスロンなど公道で行う競技の暑さ対策を協議する有識者検討会（「アスリート・観客にやさしい道の検討会」）の初会合を開催しました。5月には、関係府省庁や東京都などを交えた連絡会議も設置されています。

その取り組みの1つに挙げられているのが、路面の温度上昇を抑制する舗装技術の普及です。特に「**遮熱性舗装**」や「**保水性舗装**」が期待されています。



NIPPOは「遮熱性舗装」の開発企業であり、国際道路連盟（IRF）の「世界道路功績賞」や世界道路協会（PIARC）の「最優秀革新賞」を受賞するなど、日本発の技術を世界に発信するとともに、夏季のヒートアイランド現象の緩和のため、その普及に努めてきました。

今後も、夏季の道路環境の快適性を追求するべく、積極的な展開を図ってまいります。



メキシコシティで開かれたPIARC「最優秀革新賞」の授賞式の様子

遮熱性舗装 パーフェクトクール

舗装の表面に設けた遮熱コート層が近赤外線を反射することで、路面温度は一般のアスファルト舗装より10℃程度抑制できます。舗装が熱くなりにくいので、気温上昇や蓄熱を防ぐことができます。

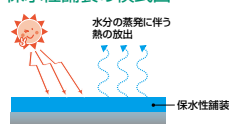


車道（バスレーン）と広場での施工例

保水性舗装 クールポリシール

空隙の多いアスファルト舗装内に、保水能力の大きい特殊な液体を注入・充填した舗装です。雨などで舗装内に溜められた水分が、太陽光によって蒸発する際に発生する気化熱によって、路面温度の上昇を抑制します。

保水性舗装の模式図



車道での保水性舗装の施工例

全国各地の橋梁における大規模更新・修繕事業が加速

床版を補修する「繊維入りコンクリート舗装」のニーズ拡大

国土交通省や地方自治体、高速道路各社では、現在、インフラの大規模更新事業・修繕事業に注力しています。中でも橋梁部分で用いられている部材の「床版」は、疲労や塩害などで劣化している部分を新規に交換するため、その規模は数兆円市場になると注目されています。

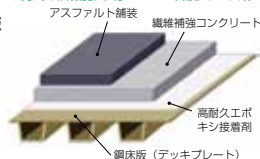
NIPPOでは、床版向けの各種工法の技術を展開し、数多くの施工実績を有していますが、インフラの老朽化対策や道路交通安全対策の一助として、今後も注力してまいります。



NIPPOが開発した「スマートフィニッシュ」による鋼床版補強用SFRC舗装の施工風景

NIPPOの主なコンクリート床版対策工法

- **床版上面増厚工法**：繊維で補強したコンクリートを薄層で舗装する工法です。鋼床版補強用SFRC舗装の断面
- **スマートオーバーレイ工法**：短い規制時間かつ低騒音で、床版を補修・補強する工法で、住宅地などに隣接した中小橋での施工に多数採用されています。
- **鋼床版補強用SFRC舗装**：亀裂対策のため、エポキシ樹脂材を塗布しながら、鋼繊維補強コンクリート（SFRC）を床版の上面に打継ぐ、強度が特徴の工法です。

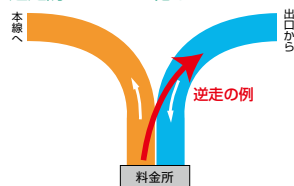


多発する高速道路の逆走防止へ路面のカラー化が切り札に

カラフルな「カラー舗装」を出入口部や交差部に普及

高速道路会社6社は、2014年に確認した高速道路での逆走は198件で、約半数はインターチェンジやジャンクションからの進入と発表しました（4月28日）。それを受けて、高速出口部への逆走防止のため緑色のカラー舗装で入口へ誘導し、入口と出口が交差する箇所では、本線へ入る車線をオレンジに、本線からの出口の車線を水色にカラー化する対策に乗り出しました。

逆走防止のカラー化イメージ



NIPPOのカラー舗装による車両の誘導や進入防止例



カーブでの隣接車線との接触防止に



JR気仙沼線のBRT専用道路への進入防止に

NIPPOでは、景観対策や車線識別用に多種多彩なカラー舗装を展開していますが、逆走防止という命に係わる安全対策でも、より一層の技術提案や施工に努めてまいります。

2015年はチーム名を「NIPPO・ヴィーニファンティーニ・デローザ」としてヨーロッパで活動中

1987年に日本舗道レーシングチームが発足して以来、30年近くにわたって、NIPPOは自転車ロードレースチームのメインスポンサーとして、また全国各地で開かれる自転車ロードレース大会への協賛を通じて、自転車スポーツ振興・地域振興に取り組んできました。

2015年、NIPPOがサポートするロードレースチーム「NIPPO・ヴィーニファンティーニ・デローザ」は、自転車ロードレースカテゴリーの上から2番目に当たる「プロコンチネンタルチーム」にステージアップし、本場ヨーロッパのトップクラスのレースを中心に参戦しています。

また、同チームでは将来のロードレース界を担う若手日本人選手3名が、2020年に世界のトップシーンで活躍できるように育成を図っています。



「ツール・ド・フランス」個人総合7位、「ジロ・デ・イタリア」優勝という実力で世界中からの人気を誇るダミアノ・クネゴ（最前列）をキャプテンに、日本人若手3名を加えた17名の選手で構成

世界の自転車ロードレース カテゴリー

ワールドツアー
(ツール・ド・フランス等)
全レースへの出場義務あり
(世界で17チーム)

ワールドツアーへ
ワイルドカード*で
出場可能 ※招待出場枠
(世界で17チーム)

ワールドツアー出場不可
(2014年までのTeamNIPPO)
アジア等地域ごとのラン
グを競う (世界で約170チーム)

UCI ワールドチーム

プロコンチネンタルチーム

コンチネンタルチーム

クラブチーム (実業団等)

「ジロ・デ・イタリア」に招待枠で初出場

「ツール・ド・フランス」や「ブエルタ・ア・エスパーニャ」と並んで「3大ツール」と呼ばれる「ジロ・デ・イタリア」は、欧州を中心に絶大な人気を誇る世界的スポーツイベント。約3,500kmを走る過酷なレースに初参戦し、上位入賞するなど見せ場を作り、また一切のペナルティを受けなかったため「フェアプレー賞」を獲得しました。



最終日にフェアプレー賞の受賞で登壇

NIPPOの自転車競技の普及・振興活動



日本ナショナルチームのサポート活動を通じて、自転車競技界の底上げにも注力しています

国内最大の大会の1つ「ツール・ド・北海道」に1987年より公式スポンサーを務めるなど多くの大会を協賛しています



各大会には地元の社員やマスコットキャラクター「ミッチーくん」が応援に駆け付け、大会と地域を盛り上げています

連結決算のご報告 (平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

経営成績

当連結会計年度の売上高は 3,969 億 48 百万円と前期に比べて 8.0%の減少となりました。

利益につきましては、営業利益は 343 億 94 百万円と前期に比べて 0.9% の減少、経常利益は 366 億 4 百万円と前期に比べて 1.5%の増加、また、当期純利益は 224 億 37 百万円と前期に比べて 3.0%の増加となりました。

事業別の営業の成果

建設事業

当社グループの主要部門であり、受注高は 2,999 億 32 百万円と前期に比べて 2.1%の減少、完成工事高は 2,891 億 22 百万円と前期に比べて 9.5% の減少、営業利益は 211 億 91 百万円と前期に比べて 1.6%の減少となりました。

製造・販売事業

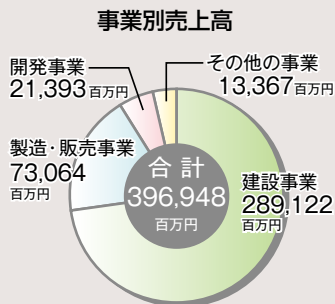
売上高は 730 億 64 百万円と前期に比べて 8.9%の減少、営業利益は 150 億 43 百万円と前期に比べて 2.2%の減少となりました。

開発事業

売上高は 213 億 93 百万円と前期に比べて 11.5%の増加、営業利益は 24 億 74 百万円と前期に比べて 16.3%の減少となりました。

その他の事業

売上高は 133 億 67 百万円と前期に比べて 4.5%の増加、営業利益は 19 億 87 百万円と前期に比べて 26.6%の増加となりました。



業績の推移

	第 111 期 (平成 23 年度)	第 112 期 (平成 24 年度)	第 113 期 (平成 25 年度)	当 期 (平成 26 年度)
受 注 高 (百万円)	403,196	389,234	419,016	404,921
売 上 高 (百万円)	376,523	385,017	431,638	396,948
経 常 利 益 (百万円)	16,998	23,881	36,048	36,604
当期純利益 (百万円)	7,474	14,537	21,786	22,437
1 株当たり当期純利益(円)	62.74	122.03	182.89	188.37
総 資 産 (百万円)	393,132	400,352	440,464	469,454
純 資 産 (百万円)	184,097	201,230	223,010	250,913
1 株当たり純資産 (円)	1,517.84	1,660.09	1,838.14	2,069.43

連結決算のご報告

連結貸借対照表要旨

平成 27 年 3 月 31 日現在

資産の部	単位：百万円
流動資産	312,125
現金預金	54,696
受取手形・完成工事未収入金等	135,692
未成工事支出金	24,359
たな卸不動産	28,111
短期貸付金	42,421
繰延税金資産	4,481
その他	22,361
固定資産	157,328
有形固定資産	97,917
建物・構築物	24,861
機械装置・運搬具	10,343
土地	58,785
その他	3,928
無形固定資産	2,116
投資その他の資産	57,293
投資有価証券	52,922
長期貸付金	315
繰延税金資産	390
その他	3,665
資産合計	469,454

(注)有形固定資産の減価償却累計額 124,060 百万円

負債の部	単位：百万円
流動負債	186,467
支払手形・工事未払金等	127,535
短期借入金	1,985
未成工事受入金	18,366
その他	38,580
固定負債	32,072
長期借入金	3,262
繰延税金負債	11,079
退職給付に係る負債	8,309
その他	9,420
負債合計	218,540
純資産の部	
株主資本	222,209
資本金	15,324
資本剰余金	15,916
利益剰余金	191,170
自己株式	△ 202
その他の包括利益累計額	24,282
その他有価証券評価差額金	24,553
繰延ヘッジ損益	△ 0
退職給付に係る調整累計額	△ 269
少数株主持分	4,421
純資産合計	250,913
負債・純資産合計	469,454

連結損益計算書要旨

平成 26 年 4 月 1 日から
平成 27 年 3 月 31 日まで

	単位：百万円
売上高	396,948
売上原価	341,301
売上総利益	55,647
販売費及び一般管理費	21,252
営業利益	34,394
営業外収益	2,582
営業外費用	372
経常利益	36,604

	単位：百万円
特別利益	748
特別損失	457
税金等調整前当期純利益	36,896
法人税、住民税及び事業税	14,661
法人税等調整額	△ 470
少数株主利益	267
当期純利益	22,437

連結キャッシュ・フロー計算書要旨

平成 26 年 4 月 1 日から
平成 27 年 3 月 31 日まで

単位：百万円	
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,585
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,520
現金及び現金同等物に係る換算差額	244
現金及び現金同等物の増減額	14,166
現金及び現金同等物の期首残高	82,472
連結範囲変更等に伴う増減額	217
現金及び現金同等物の期末残高	96,855

連結株主資本等変動計算書要旨

平成 26 年 4 月 1 日から
平成 27 年 3 月 31 日まで

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	15,324	15,916	172,899	△ 190	203,950	16,263	△ 0	△ 1,258	15,005	4,055	223,010
会計方針の変更による 累 積 的 影 響 額			△ 1,227		△ 1,227						△ 1,227
会計方針の変更を反映 した 当 期 首 残 高	15,324	15,916	171,671	△ 190	202,722	16,263	△ 0	△ 1,258	15,005	4,055	221,782
当期変動額											
剰余金の配当			△ 2,977		△ 2,977						△ 2,977
当期純利益			22,437		22,437						22,437
自己株式の取得				△ 12	△ 12						△ 12
連結範囲の変動			39		39						39
株主資本以外の項目 の 当 期 変 動 額 (純 額)						8,289	△ 0	989	9,277	366	9,644
当期変動額合計	-	-	19,499	△ 12	19,486	8,289	△ 0	989	9,277	366	29,131
当期末残高	15,324	15,916	191,170	△ 202	222,209	24,553	△ 0	△ 269	24,282	4,421	250,913

単体決算のご報告 (平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

営業の成果

当期の受注高は、2,940 億 58 百万円と前期に比べて 0.6%の増加、売上高は、2,870 億 55 百万円と前期に比べて 8.7%の減少となりました。

利益につきましては、経常利益は 299 億 84 百万円と前期に比べて 4.3%の減少となりました。

また、当期純利益は 188 億 89 百万円となりました。

なお、株主配当金につきましては、1 株当たり 25 円とさせていただきます。

部門別営業の成果

工事部門

当期の受注高は、1,922 億 65 百万円と前期に比べて 6.0%の増加、完成工事高は 1,838 億 55 百万円と前期に比べて 10.5%の減少となりました。

製品部門

当期のアスファルト合材およびその他の製品販売の売上高は、729 億 42 百万円となり、前期に比べて 12.3%の減少となりました。

開発事業等の部門

当期の開発事業等の受注高は、288 億 49 百万円と前期に比べて 3.9%の増加、売上高 302 億 56 百万円と前期に比べて 16.8%増加いたしました。

業績の推移

	第 111 期 (平成 23 年度)	第 112 期 (平成 24 年度)	第 113 期 (平成 25 年度)	当 期 (平成 26 年度)
受 注 高 (百万円)	302,645	287,786	292,246	294,058
売 上 高 (百万円)	278,153	285,258	314,379	287,055
経 常 利 益 (百万円)	15,684	21,333	31,341	29,984
当期純利益 (百万円)	6,962	12,985	19,241	18,889
1 株当たり当期純利益(円)	58.44	109.00	161.53	158.58
総 資 産 (百万円)	311,174	324,484	351,851	375,039
純 資 産 (百万円)	165,672	180,631	200,388	222,092
1 株当たり純資産 (円)	1,390.66	1,516.28	1,682.27	1,864.58

貸借対照表要旨

平成 27 年 3 月 31 日現在

資産の部	単位：百万円
流動資産	222,609
現金・預金	30,992
受取手形	16,433
完成工事未収入金・売掛金	82,339
販売用不動産・開発事業等支出金	27,960
未成工事支出金	7,078
短期貸付金	40,655
繰延税金資産	3,697
その他	13,452
固定資産	152,429
有形固定資産	94,997
建物・構築物	24,366
機械装置・運搬具	9,055
土地	58,151
その他	3,424
無形固定資産	1,980
投資その他の資産	55,451
投資有価証券	39,355
長期貸付金	820
その他	15,275
資産合計	375,039

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 118,488 百万円

負債の部	単位：百万円
流動負債	131,451
支払手形	18,481
工事未払金・買掛金	72,442
未払金	10,976
未成工事受入金	9,339
その他	20,211
固定負債	21,495
繰延税金負債	10,327
退職給付引当金	2,689
預り保証金敷金	6,581
その他	1,896
負債合計	152,946
純資産の部	
株主資本	198,473
資本金	15,324
資本剰余金	15,916
利益剰余金	167,435
自己株式	△ 202
評価・換算差額等	23,619
その他有価証券評価差額金	23,619
純資産合計	222,092
負債・純資産合計	375,039

損益計算書要旨

平成 26 年 4 月 1 日から
平成 27 年 3 月 31 日まで

	単位：百万円
売上高	287,055
売上原価	243,821
売上総利益	43,233
販売費及び一般管理費	14,648
営業利益	28,585
営業外収益	1,630
営業外費用	231
経常利益	29,984

	単位：百万円
特別利益	753
特別損失	440
税引前当期純利益	30,297
法人税、住民税及び事業税	11,650
法人税等調整額	△ 242
当期純利益	18,889

完成工事ハイライト



● 国土交通省 北海道開発局
函館新外環状道路
函館市 亀田中野舗装工事
【北海道】

● JX ホールディングス株式会社
等々力グラウンド野球場
整備工事
【神奈川県】



● 大阪府
大阪府立中河内・南河内地域支援学校（仮称）増築その他工事
【大阪府】



会社の概況

商 号 株式会社 NIPPO

沿 革 日本石油株式会社の道路部と浅野物産株式会社の道路部が合併して設立されました
昭和 9 年 2 月 2 日

設立
営業種目 道路建設工事／空港施設工事／工場・流通施設工事／スポーツ・レジャー施設工事／各種舗装工事／一般土木工事／土地造成工事／上・下水道工事／造園・緑化工事／河川・港湾・海岸工事／防水・水利工事／一般建築工事／建築外構工事／建設資材の製造販売／石油・石炭・ガス・化学プラントの企画・設計・建設・監理／熱・電気供給設備の企画、設計開発、建設、販売／土壤汚染調査、分析および浄化工事／産業廃棄物処理／建設コンサルタント業務／不動産取引業務／ゴルフ場およびホテルの経営／特定目的会社、特別目的会社および不動産投資信託に対する出資並びに出資持分の売買、仲介および管理／公共施設等の企画、建設、保有、維持管理および運営／有料道路の保有、経営、管理、維持の業務／貨物利用運送業／発電および売電に関する業務／医療、健康、運動器具の販売および賃貸

資 本 金 15,324,503,088 円

株式の状況 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

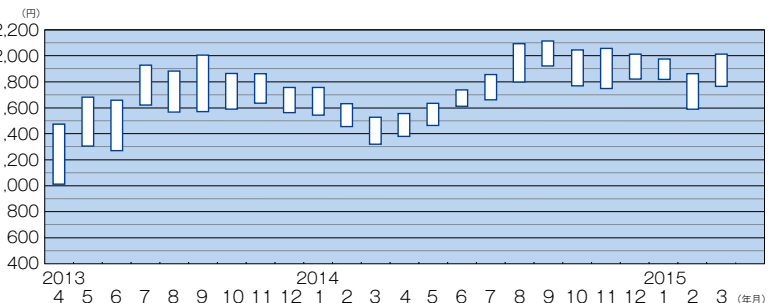
①発行可能株式総数	240,000,000 株
②発行済株式の総数	119,401,836 株
③株 主 数	5,193 名

大株主の状況 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

株 主 名	持株数	持株比率	株 主 名	持株数	持株比率
	千株	%		千株	%
1 JX ホールディングス株式会社	67,890	56.9	6 ザ バンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌビイ 10	1,192	1.0
2 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	8,204	6.8	7 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	1,001	0.8
3 日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	3,559	2.9	8 メロンバンクエヌ・アズ・ジェントフォーク ツクライアントメロン・コム・バリュー・エディション	957	0.8
4 ステート ストリート バンク アン ド トラスト カンパニー 505001	1,480	1.2	9 バンク オブ ニューヨーク・ジェントフォーク ツクライアント・メロン・バリュー・エディション	880	0.7
5 エバーグリーン	1,361	1.1	10 メロン バンク トリーティー クライアント オムニバス	733	0.6

(注) 持株比率は自己株式(290,721 株)を控除して計算しております。

株価の推移



会社の概況

取締役および監査役（平成 27 年 6 月 23 日現在）

代表取締役 会長	水	島	和	紀
代表取締役 社長	岩	田	裕	美
代表取締役	山	縣	由	起夫
代表取締役	横	山		茂
取締役	石	川	公	一
取締役	寺	分	純	一
取締役	高	橋	章	次
取締役	吉	川	芳	和
取締役	木	村		康
取締役	木	村		孟

常勤監査役	傍	田	明	夫
常勤監査役	吉	田	泰	麿
監査役	関		俊	朗
監査役	石	田	祐	幸

（注）1. 木村 孟は社外取締役です。
2. 吉田 泰麿、石田 祐幸は社外監査役です。

執行役員（平成 27 年 6 月 23 日現在）

※執行役員社長	岩	田	裕	美
※執行役員副社長	山	縣	由	起夫
※専務執行役員	横	山		茂
※専務執行役員	石	川	公	一
※専務執行役員	寺	分	純	一
※専務執行役員	高	橋	章	次
※常務執行役員	吉	川	芳	和
常務執行役員	馬	場	義	雄

執行役員	寺	嶋	則	夫
執行役員	廣	本	哲	也
執行役員	小	迫	一	博
執行役員	佐	藤	浩	孝
執行役員	赤	池	利	孝
執行役員	藤	井		進
執行役員	矢	吹	直	人
執行役員	井		誠	輔
執行役員	松	澤		洋
執行役員	荒	井	明	夫
執行役員	宮	崎	匡	弘
執行役員	橋	本	祐	司
執行役員	吉	塚	龍	吉
執行役員	福	島	憲	二
執行役員	石	川	栄	男
執行役員	沼	尻		理

（注）※印は取締役との兼務を示します。

事業所

本社：東京都中央区京橋一丁目 19 番 11 号

総合技術センター・技術研究所（さいたま市西区）

支店：北海道支店（札幌市中央区） 東北支店（仙台市青葉区）
関東第一支店（東京都新宿区） 関東第二支店（東京都品川区）
北信越支店（新潟市中央区） 中部支店（名古屋市中区）
関西支店（大阪市中央区） 四国支店（高松市）
中国支店（広島市南区） 九州支店（福岡市中央区）
関東建築支店（東京都品川区）

リゾート事業のご紹介



パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ
ホテル パサージュ 琴海



〒851-3211
長崎県長崎市琴海戸根原町171
TEL 095-884-3990 (代表) FAX 095-884-3970

長崎リゾートアイランド

パサージュ 琴海

○インターネットで当社に関する情報をご覧になれます。
ホームページアドレス <http://www.nippo-c.co.jp>

株主メモ

事業年度

毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

配当金受領株主確定日

毎年 3 月 31 日

定時株主総会

毎年 6 月下旬

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120 - 782 - 031 (フリーダイヤル)

(住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について)

○株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

(未払配当金の支払いについて)

○株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

(配当金のお受け取りについて)

○従来の銀行預金口座への振込に加え、ゆうちょ銀行口座への振込をお取り扱いしております。ご利用いただく場合は、お取引の証券会社等にお申出ください。

(「配当金計算書」について)

○配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

○ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

○なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

